

【参考】

次期総合計画における産業政策（概要）

産業政策の現状と課題

現総合計画における産業政策の総括

- 【成果】
- ・総合計画の基本方向の1つに産業経済分野が位置づけ
 - ・中小企業地域経済振興基本条例の制定
 - ・産業振興会議の設置
- ⇒考え方が示され、政策体系が整備され、施策提言機能を備えたことにより、産業政策が本格的に展開

【課題】

- 工業集積の維持・発展、地域商業の活性化にむけ、これまでの取組みをさらに充実する必要がある。
- 産業政策の位置づけを高めるとともに、職員市民の産業に対する理解を促進することが不可欠である。
- 広報戦略、ブランド化戦略により、話題づくりを行っていく必要がある。

産業を取り巻く環境

- ・少子化、高齢化
- ・価値観や文化の多様化
- ・循環型社会への対応
- ・バーチャルとリアリティの二極化
- ↓
- ・課題や問題点等が複合化
- 多方向からのアプローチが必要
- ↓
- 「まちづくり」全体から産業の課題を捉える、産業の活性化を「まちづくり」に活かすことが必要

産業政策の方向性

産業政策の方向性

産業の発展こそがまちづくりの基本
「産業の発展による自立したまち」を目指す

【産業政策の方向性】

- 産業基盤の確立と機能強化の推進
 - ・工業、商業施設の立地誘導
 - ・人材確保・育成
 - ・新陳代謝の促進
 - 活力あふれる八尾産業の発信
 - ・戦略的な八尾産業のブランド化と情報発信
 - 産業政策を活かした「まちづくり」の推進
 - ・工業の発展による「まちづくり」の好循環
 - ・「商業まちづくり」によるまちと商業の活性化
- ⇒産業政策の位置づけをさらに高め、産業振興をまちづくり全体の共通課題として捉える

産業政策を推進するにあたって

- 【特に認識が必要となる項目】
- 工業と商業が果たす役割の違い
 - ・工業は八尾市外部から収益を上げ、雇用等を創出する役割を果たす。
 - ・商業は八尾市内における市民の買物、生活の質を上げる役割を果たす。
 - ⇒工業商業それぞれで政策体系の整備が必要
 - 地域資源活用、国際競争力強化の視点
 - 基本条例の実効性担保
 - ・基本条例との関係を整理し、工業、商業集積の維持・発展に実行性を持たせる条例等の制定を検討
 - 推進体制の強化
 - ・人員、予算のさらなる充実
 - ・商工振興支援の拠点を整備、機能強化

工業・商業振興の方向性

工業振興の方向性、主要施策

「世界に誇る産業集積地をめざして」
・基盤技術を支える高付加価値型中小企業の集積地

- ・「ものづくりのまち」に誇りを持ち、住共生を実現しているまち

【主要施策】

- ・工業集積の基盤整備
 - ・技術・経営の高度化支援
 - ・ものづくり人材の確保・育成
 - ・取引拡大のための支援
 - ・ブランド力・情報発信力の強化
- 【特記事項】
- ・中小企業サポートセンターを企業支援の中核に据える。

商業振興の方向性、主要施策

「“真の地域商業”の創出をめざして」

- ・まちの人々に愛され、必要とされる地域商業
- ・いきいきと誇りを持って商いをする地域商業

【主要施策】

- ・活性化ビジョン策定の促進
 - ・活性化プラン展開の支援
 - ・商業施設の立地誘導
 - ・地域貢献活動の義務付け
 - ・まちづくり活動の推進 ほか
- 【特記事項】
- ・事業者の自助努力を地域商業活性化アドバイザーがサポート。他分野との連携強化、協力体制の確立が必要